



差別撤廃にむけて

市民社会に求められるもの

2013. **6.14** 金

午後1時15分～午後3時45分

ヤクルトホール

(東京都港区東新橋1-1-19)

JR新橋駅銀座口徒歩3分、

地下鉄新橋駅2番出口徒歩2分

<http://www.yakult.co.jp/hall/access/>



IMADR創立25周年記念 第22回ヒューマンライツセミナー

1988年1月、世界からあらゆる差別の撤廃をめざして反差別国際運動 (IMADR) が創立されて今年で25年となります。これまでIMADRは、多くの人びとの支援をうけながら、その活動を通して、国や国連の人権政策に影響をあたえてきました。セミナーではIMADR理事長が反差別国際運動の挑戦について報告いたします。記念講演では、国連女性差別撤廃委員会の委員である林陽子さんに差別撤廃にむけた国際的潮流について語っていただきます。私たち市民社会に求められていることは何かを共に考えていきたいと思ひます。

主な内容

反差別国際運動の挑戦

— IMADR創立25周年を迎えて

ニマルカ・フェルナンド (IMADR理事長)

記念講演

差別撤廃にむけた国際的潮流と日本

林陽子 (弁護士、国連女性差別撤廃委員会委員、IMADR-JC顧問)



ニマルカ・フェルナンド

スリランカの人権活動家、弁護士。マイノリティ・コミュニティを中心にさまざまな人権問題に深く関わる。とりわけ、スリランカ国内の避難民や移住労働者が直面する問題に女性の視点から取り組んできた。スリランカの和平と人権確立への30年以上に亘る貢献が認められ、2012年にスリランカ平和協会から市民平和賞を受賞。1995年からIMADR理事長を務める。また、平和と民主主義のための女性連合をはじめ多くのNGOの役員を務める。



林陽子

弁護士。1980年代後半から、外国人女性のシェルター「女性の家 HELP」、東京・強姦救援センターなどの活動に顧問弁護士として関わる。2000年から12年間、内閣府男女共同参画会議「女性に対する暴力撤廃専門調査会」委員。2004年から2006年まで、国連人権の促進と保護に関する小委員会代理委員を務め、2008年から国連女性差別撤廃委員会の委員。長年IMADR-JCの理事を務め、2012年より同顧問。

参加・資料代

3,000円 (記念冊子『反差別国際運動の挑戦—世界の水平運動をめざして』含む)

※セミナー当日午前10時より、同会場で反差別国際運動日本委員会 (IMADR-JC) の第24回総会を開催いたします。あわせてご参加ください。

主催 第22回ヒューマンライツセミナー実行委員会

連絡先 実行委員会事務局 反差別国際運動日本委員会 (IMADR-JC)

〒104-0042 東京都中央区入船1-7-1 松本治一郎記念会館6階

Tel : (03) 6280-3101 Fax : (03) 6280-3102 Eメール : imadrjc@imadr.org